

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 416 (通算 748 回)

開催延期となりました。

学士課程教育の評価と質深化

学修者本位の教学マネジメントDXに向けて～そのかたちと見晴らし

～ 学修と教育の成果と評価／システム連動による見える化と律動 ～

- ※ 学生の主体性・自律性に立つ／教学成果のシステム統合によるダイナミズム／自己組織化のDX
- ※ 学修成果指標GPAの特性とその働きの効能は／12の論点へのビュッフェ・スタイルでの再確認
- ※ コンピテンシー評価と学修行動特性がもたらす光明／大学の自律と学生の自己覚醒～その仕掛け

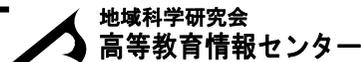
● 講師 ●

半田 智久 氏 / (国) お茶の水女子大学 教学IR・教育開発・学修支援センター 教授

* 教学IR・教育開発・学修支援センターのHP

<https://crdeg5.cf.ocha.ac.jp/crdeSite/index.html>

2021年6月29日(火) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町) & オンライン



日時: 2021年6月29日(火) 13:00 ~ 16:30

会場: 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」

A1出口より徒歩3分

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 28,000円(税込)

B. メディア参加(資料・音声CD送付) 30,000円(送料、税込)

C. 高等教育同人(☆) 14,000円(税込)

※「オンライン当日参加」は、ウェブ会議システム「Zoom(ズーム)」を使用予定です。

※メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録したCDを送付します。

※当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。

(※参加申込みの折は、必ずFAXかE-mailにてお送りください)

☆ 高等教育計画経営研究所同人はKKJのHPでご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAXまたはE-mailにてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株) 地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03(3234)1231 Fax: 03(3234)4993

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 414

(該当する□に✓印を)

年 月 日

学修者本位の教学マネジメントDXに向けて～そのかたちと見晴らし

当日会場参加 オンライン当日参加 メディア参加

支払方法 当日払い 銀行振込
必要書類 請求書 見積書 領収書

勤務先 _____

所在地 (〒 _____)

(請求書等記載の宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

学修者本位の教学マネジメントDXに向けて ～ そのかたちと見晴らし

開催延期となりました。

(国) お茶の水女子大学 半田 智久

時間	講義項目
13:00 ～ 14:00	<p>1. 学修者本位の学びの条件とDX</p> <ul style="list-style-type: none"> ～ DXの要諦は自律系 ～ 基幹教学マネジメントの髓と内部質保証の礎 ～ そのインテリジェンスの波及性 <p>(1) 学修者目線や学生の主体性 誰がどういうつもりで語っているのだろうか 大学関係者はどう思っているのだろうか</p> <p>(2) 懐かしいものづくりの品質改善サイクルの話しを、今どきのひとつづくりの場にもちこむ了見について ～ PDCA、回したら眩暈が落ち</p> <p>(3) 「教」目線の学修成果評価と「学」目線の授業評価との行き交いが導く環界</p> <p>(4) 自己組織化する教学マネジメントへ</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:10 ～ 15:20	<p>2. 学修成果指標GPAについて ～ オーダー・ビュッフェ・スタイルで再確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ～ 定着したGPAについてこのところ再考と機能化の動きが見られる あらためてこの指標の特性とその働きの効能を参加者のオーダーにもとづいて再確認していく <p>(1) GPAは20年という歳月をかけて やっと日本の9割方の大学で運用されるようになった</p> <p>(2) 単なる、しかしかにすぎないが 要になることだけに、もたついたのかもしれない。</p> <p>(3) ここではこの指標にまつわる12ほどのトピックスを用意した</p> <p>(4) かぎりある時間のなかでのことゆえ、 ご希望の論点をピックアップし、論じあっていきたい</p> <p style="text-align: right;">〈ほとんど全部 質疑応答〉</p>
15:30 ～ 16:30	<p>3. 大学で学生一人ひとりの性質を知る ～ 学修者本位の学びの確立へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ～ 誰も全学生のことを知る由もない、ただ一者をのぞいて ～ 学生の学修行動とコンピテンシー評価系が紡ぎだす学修特性と成果 ～ たとえば、インダクティブ・ループリックとフリースケールメソッドを用いたコンピテンシー評価と学修行動の比較調査がもたらす事実 <p>(1) 「学修者本位」を語るとき その相手方の多様性にたじろがず対峙できる大学はあるか</p> <p>(2) 臆面もなくうなずくには、その備えがあつてのこと それは一人ひとりが示す性質をおさえた一者の存在</p> <p>(3) すなわち神か、その化身か ブーカの済度に登場したこの系が繰り出す動態</p> <p>(4) いま再び大学の自律と学生一人ひとりの自己覚醒へ その仕掛けが「ある」か「ない」かの違いから先</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>